

# 大祓式次第

一、手水てみずの儀  
手水舎にて手を洗い口をすすぐ

一、参進さんしんせいれつ整理  
注連柱しめぼしら前の所定の位置に整列する

一、切麻きりぬさを頒わかつ  
参列者全員 所役しよやくより切麻及び人形ひとがたを受け取る

一、宮司はらいおうち祓を仰す  
宮司が大祓を指示する

諸員はこれに応ふ

一、大祓詞おおはらいことばを宣る  
祓主が大祓詞を奏上する

この間諸員は頭を下げる

諸員は大祓詞中「〜聞食せと宣る」

という言葉のところで、「ヲウ」と申す

一、切麻きりぬさにて祓はらふ  
自ら紙包みを開き

先ず切麻を身体に振り散らして

(左・右・左と三回) 身体を祓ふ

一、人形ひとがたにて祓はらふ  
次に人形を取り出し

身体を撫で息を吹きかける

一、人形を集める  
所役が諸員から人形を集め案上に置く

一、大麻にて祓はらふ  
所役が人形を祓ふ

次に氏子地域全体(四方)を祓ふ

一、人形を清流に流す  
所役が人形を清流に流す

一、参進整理  
宮司以下諸員は茅の輪前に一列に並ぶ

一、茅の輪くぐり  
宮司以下諸員は茅の輪をくぐる

茅の輪は左廻り・右廻り・左廻りと三度廻る

茅の輪をくぐり終え本社にて拝礼 続いて摂社にて拝礼